



二所ノ関



五月場所結果

前相撲	序ノ口			序二段						三段目								幕下			十両	幕内
	東14	西13	西9	東92	東63	東59	東49	東48	東40	西77	西70	西62	西49	東33	東32	西18	西9	東55	西23	東16	西8	西横綱
足立	野島	後藤	山田	湍谷	西勢郷	総勢山	阿見大心	住吉	御柱	田中	内間	藤宗	羅漢児	尼王	今村	谷口	麟虎	古田	麒麟龍	花の海	白熊	大の里
全休	5 2	4 3	4 3	4 3	2 5	3 4	4 3	2 5	4 3	3 4	5 2	5 2	4 3	2 5	3 4	4 3	5 2	3 4	2 5	全休	7 8	全休

七月場所新番付

前相撲		序二段										三段目						幕下			十両	幕内	
		東 83	西 79	西 76	東 76	西 74	西 63	東 57	西 25	西 17	東 14	東 56	西 48	東 40	西 34	東 32	西 6	西 5	西 56	東 46	西 38	東 9	西 横綱
田所	足立	西勢郷	後藤	総勢山	山田	住吉	野島	湍谷	阿見大心	御柱	田中	尼王	今村	内間	羅漢児	藤宗	谷口	古田	花の海	麟虎	麒麟龍	白熊	大の里

全休で出直しの大の里

怪我も完治には至らず、全休の決断をした大の里。入門以来、初めての挫折を味わった。場所中も休むことなく基礎鍛錬に励み、治療も続けてきた。身体のことにも勉強し、日に日に状態は良くなってきており、本人にも笑顔と自信が戻ってきた。「初めての経験」、逆を返せば、いかにスムーズに横綱まで登り詰めたかが分かる。ここから新しい大の里が誕生するはず。6月はパリ公演に付人4名と参加。相撲協会の看板として、復活への覚悟を決意するきっかけになった。



麟虎久しぶりの幕下復帰

昨年の1月場所で幕下昇進、当時は18歳だった麟虎。三段目に陥落してからは負け越しが続いた時期もあり、もがき苦しんでいた。その中でも毎日地道な稽古を続け、身体も少し大きく膨らんできた。場所前は師匠が太鼓判を押すほどに稽古ができ、期待通りの5勝。久しぶりの幕下復帰となる。年齢も20歳になったが、この苦しい期間があつてこそその成長があった。ここからは止まらずに関取を射程圏に入れてほしい。



茨城県から新弟子、田所入門

・田所 龍馬 (たどころ りょうま)
茨城県那珂市出身。17歳。183cm133kg 子どもの頃から野球少年。大きな体と運動神経を活かして、大相撲で勝負することを決意した。茨城県出身、野球出身と親方と同じで、期待も大きい。

二所ノ関親方の総評コーナー！

大の里が全休となり、皆様にはご心配をおかけしています。リハビリ、トレーニングにも励んでおり、少しずつですが状態は上向いてきました。自分の身体と向き合い、これだけ研究研鑽するのは恐らく初めての経験でしょう。ここからようやくスタートラインのように感じています。

白熊は場所前の稽古はここ最近では最も良かったです。質量ともに積めていました。今場所は負け越しになりましたが、これを続けていければ大爆発すると思います。

麟虎と谷口が場所前は良い稽古ができ、やはり活躍しました。いかに稽古が本場所でするのかということです。まだまだ地味ではありますが、全体的にそれぞれが地力を付けています。数場所後には、幕下と三段目上位の層が厚くなる予感があります。新弟子も入門してくれて、これから部屋は盛り上がってくるでしょう。名古屋は暑さとの戦いですが、一丸となって臨みます。

地力を付けてきた谷口

谷口が場所前の稽古から好調。白熊の胸を借りて、シンプルに「強くなった」印象を与えていた。本場所でも自己最高位で勝ち越し、もう1勝できたはずと物足りなさを感じるほどに地力を付けている。頭を上げずに下からしつこく押す相撲は、身長が低いことを武器に変えている。いよいよ幕下昇進をかけて、名古屋で勝負である。



私の得意料理 ～花の海～

今回から新連載！各力士の得意料理を紹介します。

スタートは花の海からです。

「私の得意料理はナポリタンです。ウスターソースを入れて味のコクと深みを出すと、味が味の決め手です。濃いめの味付けで暑い夏もこれで乗り切ります！」

次回は麒麟龍の登場です！

